

## No.2483

## 三嶺～四国剣山

平成 27 年 10 月 17 日（土）～18 日（日） 晴れ

参加者：右田(L・記) 鳴原

16 日（金）夜 10 時過ぎに大阪を出発。渋滞もなく、予定どおり名頃に 2 時 30 分頃到着。駐車場には数台止まっているが、大分余裕がある。トイレもあり快適。空いているところにテントを張り仮眠。

10/17 登山口 6:40→(尾根新道)→ダケモミの丘→10:00 三嶺山頂 1893m→ カヤハゲ→

11:55 白髭避難小屋→13:55 高ノ瀬 1740m→14:35 丸石避難小屋（泊）

朝方は大分冷え込んで寒かった。この分だと上はもっと冷え込むので山小屋とはいえ寒いだろうと思ひ、念のため、フライなしでテントを持って行くことにする。谷筋が昔からのルートだが、荒れているようで尾根道の新ルートがメインになっているようなので、尾根道に行く。樹林帯で景色は望めないが、自然林なので気持ちがいい。なかなか樹林帯から抜け出せないが、頂上らしきものが見えだし、トラバース気味になった頃ようやく樹木が少なくなりやがて笹原となり展望が開けた。斜面が紅葉しきれいだ。笹原の登りの途中で水場があり、汲みに行く。

さらに登り 10 分程で池に到着。左に行けば頂上だが、右の避難小屋のルートを周回し、頂上へ向かうことにする。避難小屋は床が 2 段になっており、とても快適そうである。少し離れたところにトイレもあるようだ。笹原を快適に散歩気分で頂上へ。頂上で休憩していると反対側から数名のグループが登ってきた。天狗塚 1812m をピストンしてきたようだ。我々は、剣山方面へ下る。三嶺の紅葉を振り返りながらゆっくり

と縦走路に行く。アップダウンはあるが、厳しい登りはなく快適に歩ける。ただ、結構距離が長い。途中、白髭避難小屋があるが、ここに泊まると明日の行程が厳しくなるので、先に進む。



(三嶺の池と山頂 (中央奥))

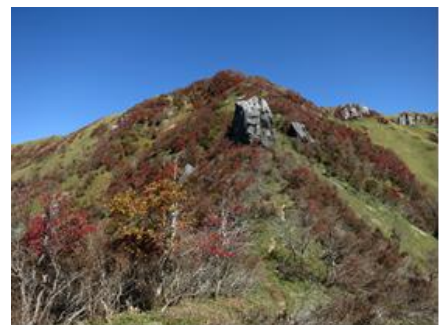


(三嶺山頂手前の紅葉)



(三嶺山頂からの避難小屋方面)

疲れが見え始めた頃、ようやく丸石避難小屋に到着。先客はなし。早速、小屋の中にテントを張り、ねぐらを確保する。反省会をしていたら、犬を連れた男性二人が到着。四国の方で結構バリバリ登っているようだ。周辺の良さそうなコースを教えてください。今日は、この 4 人でゆったりできるかなと思っていると、外が暗くなりだした頃、三嶺で会ったグループが入ってきて、満員状態に。西宮の山岳会のメンバーだった。このグループが早々に寝たようなので我々も 20 時前に就寝。



(剣山への縦走路からの三嶺紅葉)

10/18 丸石避難小屋 5:45→6:15 丸石 1683m→7:35 次郎笈 1930m7:50→8:45 剣山 1954m→  
にしじま→10:20 見ノ越 11:00 路線バス⇒11:25 名頃 11:45⇒帰阪 17:00

昨夜は予想外に寒くなく、テントも不要なようだった。今日も快晴だ。西宮のグループが早朝に出発したので、我々も予定より早くスタートする。久しぶりにヘッドランプで歩く。丸石頂上の手前の展望のきくところで日の出を迎える。ここからずっと笹原。夜露でずぶ濡れになりそうなので、ロングスパッツ、雨具をそれぞれ装着する。小屋から2時間程で次郎笈頂上に到着。ここは、100名山は勿論200名山にも入っていないが、剣山よりも頂上らしく、いい山である。剣山まできたら是非、登ることをお勧めする。ここまで来るといっぺんに人が増え、賑やかに。1時間弱で剣山頂上到着。小屋で喉を潤し、見ノ越へ下る。紅葉シーズンとあって、多くの方が登ってくる。駐車場まで到着すると駐車場を探している車が忙しく出入りしている。紅葉を眺めながらバス待ちして11時のバスで見頃まで帰ってきた。駐車場は日帰りの登山客で満車。早々に片付けて帰路に着く。時間に余裕があるので、徳島市内まで一般道のルートを取る。途中、神山の道の駅で食事をし、地元の物産をみやげに帰路に着く。今回のコースは2回目であったが季節が違うので新鮮味があったのと、これ以上ない好天に恵まれ、紅葉も見

られて充実した山行となった。次回は塔丸から丸笹山・剣山のコースを歩いてみたいと思う。鳴原さん、往復の運転お疲れ様でした。ありがとうございます。



(剣山・次郎笈の御来光)



(次郎笈頂上)



(次郎笈から望む剣山)



(次郎笈(奥)から剣山への縦走路)